

原発再稼働ストップ



金曜行動 12月4日



◆新潟
市民・野党共闘でなくそう原発・新潟市民ネットは、新潟駅前19人が参加して392回目の金曜行動をおこないました。

集会では、「大阪地裁で関西電力大飯原発の設置許可を取り消す画期的な判決が出た」「柏崎市長選は、市民ネットとしてヒラ配りや電話かけで頑張ったが残念な結果に終わった。しかし、総選挙で野党連合政権ができれば柏崎刈羽原発の廃炉も実現する。新潟県は市民と野党の共闘の先進県で、市民ネットは市民連合@新潟の参加団体なので、県内の6小選挙区ですべて勝利するよう頑張ろう」との発言がありました。

主催者側から「新潟市民ネットは、なくそう原発・大集会実行委員会の提起に応え、福島第1原発事故から10年の来年3月11日にスタンディングをする。県内外の多くの市民団体と一緒に再稼働反対の世論の強さを示す」との決意表明もありました。

参加者は替え歌を歌った後、女川再稼働同意 抗議、「命を奪うような政治」「ノーの審判を下そう」と訴えました。

◆京都
命奪つ政治ノー
大飯原発3、4号機の設置許可を取り消す大阪地裁判決が出た日の夕、関西電力京都支社前(京都市下京区)で、毎週、原発ゼロをアピールする「キンカン行動」が行われ、詰めかけた参加者は楽器を鳴らしながら「再稼働撤回!原発反対」と元気にコールしました。

近くの京都駅前街頭演説を終えた日本共産党の、倉林明子副委員長・参院議員、こくた恵 国対委員長・衆院議員(近畿比例・京都1区候補)、井上哲士 参院議員、たけやま彩子・近畿比例候補も激励に駆け付けました。

こくた氏は「みなさんの運動が勝利を生んだ。原発ゼロ、再稼働を許さない野党共闘の取り組みに確信をあたえる。コロナ対策に逆行し、命を奪うような政治にノーの審判を下そう」と訴えました。

◆奈良
大飯判決に希望
415回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前であり、16人が参加しました。

415回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前であり、16人が参加しました。

科学的根拠もないウソとごまかしが露呈した新規規制基準にしがみつくと、原発推進固執の政府・電力会社を批判。宮城県的女川原発再稼働の動きについて「住民・県民無視の再稼働を断念

キンカン行動を激励する(左から)こくた、倉林、井上、たけやまの各氏—京都市下京区

ちよっちゃんをかかえて歩く参加者—奈良市

金曜行動 12月11日

◆秋田
女川は動かさず
秋田県の「さよなら原発県民アクション」は、秋田市で421回目のデモ行進に16人が参加しました。

「原子力規制委員会の大飯原発設置変更許可を取り消す判決(4日、大阪地裁)は全原発の安全性にかかわる重大問題」と強調する人も。

科学的根拠もないウソとごまかしが露呈した新規規制基準にしがみつくと、原発推進固執の政府・電力会社を批判。宮城県的女川原発再稼働の動きについて「住民・県民無視の再稼働を断念

◆奈良
関電前まで行進
416回目の「脱原発奈良でも行動」が奈良市のJR奈良駅前であり、18人が参加しました。

コール担当者が、「原子力規制委員会は、大飯原発3、4号機の設置許可取り消しの大飯地裁の判決を真摯(しんしん)に受け止めよ」と訴え。参加者は「原発いらない」「再稼働反対」とコールしながら関西電力奈良支社前までデモ行進しました。

交流会で「奈良脱原発ネットワーク」の堀田恵美子さんが、原発事故の被災者を福島から招いて1月30日に行う学習会への参加を訴えました。

◆徳島
避難者なお多数
「原発再稼働反対! 徳島有志の会」は、徳島市のJR徳島駅前433回目の「金曜行動」を行いました。

「原発ゼロ徳島連絡会のイレブンアクション」のメンバーも合流。ともにスタンディングで訴えました。

徳島市の林大輔さん(69)は「フクシマの事故からまもなく10年。いまだに遠い町へ移住を余儀なくされている人が多数いる」とのべ

「原発廃炉を決定してこそ、再生可能エネルギーが「発展する」と呼びかけました。

同市の横山良さん(75)は、福井県の大飯原発3、4号機の設置許可を取り消した大阪地裁判決にふれ「原子力規制委員会が、自ら定めた基準を守っていないなかつたことを断罪した画期的判決。私たちの訴えが司法に届いた」と語りまし

◆水戸
東海第2廃炉に
水戸市で、300回目の「原発いばらき抗議アクション」が行われ、参加者はリレートークで「避難計画を作っているが逃げる時に被ばくを強いられる。感染症の不安もあり避難は不可能」「原子力規制委員会も絶対に原発事故が起きないと言っていない。動かすべきではない」「今度事故が起これば日本は終わる。子どもたちのためにも廃炉を訴えよう」と力説しました。

「東海第2の再稼働反対」「生業守ろう命を守ろう」とコールしアピールしました。

スタンディングでアピールする人々—徳島市

リレートークする参加者ら—水戸市

◆津
大飯判決画期的
「原発なくせ三重県民会議」は、津駅前89回目の月例集会を行いました。

参加者20人は「ふくしまを忘れまい!原発なくそう!放射能ふやすな!」の判決を生かすが重要。横断幕や、「NO NUKES 諦めずに頑張ろう」と話しES)のプラカードを掲げました。

党の福沢ひびき亀山市議は「空気が水、食べ物が安心であることを保障すること設置許可を取り消す大阪地裁判決を「画期的」と歓迎。事故を忘れず、原発をなくしました。同時に判決は、そうと声を上げ続けよう」と訴えました。

「地元同意」の撤回を。国は原発ゼロを決断せよ」と訴えました。

ヨ」が取り生まれ、25人の参加者が日本原子力発電東海第2原発(東海村)の廃炉を求めました。

参加者はリレートークで「避難計画を作っているが逃げる時に被ばくを強いられる。感染症の不安もあり避難は不可能」「原子力規制委員会も絶対に原発事故が起きないと言っていない。動かすべきではない」「今度事故が起これば日本は終わる。子どもたちのためにも廃炉を訴えよう」と力説しました。





◇盛岡

今年最後のデモ

「盛岡でもデモし隊☆」は、盛岡市で脱原発を求め、237回目のデモ行進を繰り広げました。冷え込むなか、今年最後のデモには17人が参加しました。

感染予防で声を合わせたコールはせず、希望者がマイクを持ってスピーチ。主催者の女性は「国が『脱炭素社会』をめざすのは賛成だが、原発に頼るのはダメ」と訴えました。

参加した48歳の男性は、「菅首相も安倍さんと同じで原発をやめる気がない。」



今年最後のデモに参加した人たち＝盛岡市

原発掲げたプラカードを持ってスタンディングした後、四国電力本店前で原発廃炉を目指す有志とともにリレートークしました。参加者は「原発ゼロへの横断幕や、手作りのプラカードを手に、「伊方は廃炉」「再稼働反対」とシュプレヒコール。福島原発事故後も廃炉が進まないことなど、思いを語りました。

◇高松

地方からも声を

「原発をなくす香川の会」は、高松市の百貨店前で

来年こそ原発を全部廃炉に」と話していました。のむつ市に使用済み核燃料を押し付けようとしているというじゃない。市長も県知事も怒っていたけど、絶対に許せない。国策だから何をやってもいいと思ってる。やっぱり政権を代えないとダメね」と語っていました。

◇福島・会津若松

政権代えないと

430回目になる福島県会津若松市の金曜行動スタンディングは、雪がちらつく市内中心商店街の神明通りで行われました。

思い思いに横断幕やのぼり旗、プラスターを掲げ、通行する人に「原発を廃止し、再生可能エネルギーに転換する原発ゼロ基本法を求める請願署名」を呼びかけました。

久しぶりに参加した佐藤ヒロ子さん(68)は「電力会社が一緒になって、青森

中部電前では、参加者らが順番にマイクでスピー

◇名古屋

自然を生かそう

名古屋市中区の中部電力本店前と、関西電力東海支社前には合わせて30人が参加しました。

関電前では、コールを中心に脱原発を訴え。参加者らがそろって「再生エネに切り替えよう」「地球の豊かな自然を生かそう」などを繰り返しました。



スタンディングで訴える行動参加者＝福島県会津若松市



脱原発を訴える行動参加者＝名古屋市中区